

原広司，集落の教え 100，彰国社，1998

藤井明，集落探訪，建築資料研究社，2000

2014/6/28 集中理論談話会

発表者：福山 祥代

●調査経歴（調査時の国名）

- 1972年 フランス、スペイン、モロッコ、アルジェリア、
チュニジア、イタリア、ギリシャ
- 1974年 メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、
ニカラグア、コスタリカ、パナマ、コロンビア、
エクアドル、ペルー
- 1975年 ドイツ、ポーランド、チェコスロバキア、
ハンガリー、ユーゴスラビア、ルーマニア、
ブルガリア、トルコ、イラン
- 1977年 パキスタン、インド、ネパール
- 1978年 アルジェリア、ニジェール、オート・ボルタ、
ガーナ、コートジボアール
- 1990年 インドネシア
- 1991年 バブア・ニューギニア
- 1993年 インドネシア
- 1994年 パラグアイ、アルゼンチン、ボリビア、
ペルー、チリ
- 1995年 モロッコ
- 1996年 中国
- 1997年 イエメン
- 1998年 中国
- 1999年 カメルーン、マリ



●集落リスト（タイトル、地名、国名、掲載頁）

- | | |
|--|--|
| 1. エーゲ海を望む白い街—Thira (ギリシャ) p.38 | 23. 象形の星形—Nanggala (インドネシア) p.112 |
| 2. トトラ (葦) の浮島—Titicaca (ペルー) p.42 | 24. 対面する舟形住居—Simanindo (インドネシア) p.114 |
| 3. 蕃藪の谷の管—Bou Thraier (モロッコ) p.44 | 25. 並列する入母屋群—Dokan (インドネシア) p.118 |
| 4. ラグーンに浮かぶアステカの記号—Mexcaltitan (メキシコ) p.46 | 26. 聖なる結界バリ島—Ngis (インドネシア) p.122 |
| 5. 直立する高倉—Trobriand (バブア・ニューギニア) p.48 | 27. 層構造の住居—Blang (インドネシア) p.126 |
| 6. 風水の造形—八卦堡 (中国) p.50 | 28. 小島の白い宇宙船—Tumori (インドネシア) p.128 |
| 7. 葦と泥の長大ポールト—Sinan (イラク) p.52 | 29. 巨石と首持りの島—Hilimaetanika (インドネシア) p.130 |
| 8. ちよんまげ屋根の家—Kiniyaka (バブア・ニューギニア) p.54 | 30. アンダルシアの地下住居—Guadix (スペイン) p.134 |
| 9. 積雪の家—Korogu (バブア・ニューギニア) p.56 | 31. 聖なる高みヒマラヤの麓の小宇宙—Sanga (ネパール) p.138 |
| 10. 塔状住居—al-Hajara (イエメン) p.64 | 32. 環形土壁—和漢村 (中国) p.142 |
| 11. カマリー窓の映える街—Sanaa (イエメン) p.68 | 33. 人型住居—Banani (マリ) p.148 |
| 12. 沙漠の摩天楼—Shiban (イエメン) p.72 | 34. 坩堝 (マラブ) と暮らす家—Praigeli (インドネシア) p.152 |
| 13. サハラのアアシス—M'zab (アルジェリア) p.76 | 35. 木造高床4階建—Takpala (インドネシア) p.156 |
| 14. 葦原の人工島— Abu-Soubat (イラク) p.80 | 36. ロンタルヤシの大屋根—Boni (インドネシア) p.158 |
| 15. 男の家と女の家—Disa (バブア・ニューギニア) p.84 | 37. 芝生ブロックの家—Chipaya (ボリビア) p.160 |
| 16. バリエム峡谷の積型住居—Elagima (インドネシア) p.88 | 38. 芝土のドーム—Sacasco (ペルー) p.164 |
| 17. 内包された住居—Hepuba (インドネシア) p.92 | 39. 切石のドーム—Alberobello (イタリア) p.166 |
| 18. 異形の屋内穀倉群—Oudra (カメルーン) p.94 | 40. オアシスの水系—Zafal-Quand (イラン) p.168 |
| 19. 重会した円筒群—Tensde (ブルキナ・ファソ) p.98 | 41. 風の造形—Emrani, Khunik (イラン) p.172 |
| 20. 層位の序列—Sunbrungu (ガーナ) p.102 | 42. 幸せの5色の旗—桑瑛林樾二村 (中国) p.176 |
| 21. 矩形のエレメント—Zaba, Sao (ブルキナ・ファソ) p.104 | 43. 星根を結わう縄屋—al-Ma'ras (イエメン) p.178 |
| 22. 凝縮した土の造形—Keilo (コートジボアール) p.106 | 44. ドゥアヤを持つティグレムト—Tansikht (モロッコ) p.180 |

集落の空間図式

システムとして機能してきた共同体の制度が
幾何学的な構図として集落の景観に表れたもの

集落形成のダイアグラム

1.立地場所の選定

地形の特異点 -----> 空間を誘起する潜在力

丘の頂・山の稜線, 崖の縁・山の麓などの遷急面や遷緩面,
谷筋や河川, 海岸の水際や中州

2.序列化 対内的な支配の体系 <-----> 対外的な防御の体系
相補的

3.圏域化 境界の策定 可視/不可視, 強度の設定
鬮のあり方

4.記号化 集落の全体構成や建物の形態が何を表象するか

思考回路は無数→集落形態の多様性, 空間の独自性

地形の特異点に立地する例

サントリーニ島のティラ（ギリシャ）

巨大なカルデラが海に陥没してできた島

ティラの街はカルデラのエッジに位置

火山性地震の多発地帯で、
港と街の往来には800段余の階段の昇降が必要
—危険で不便な場所に敢えて立地

崖の反対側はなだらかな斜面でぶどう畑
—無防備で防衛目的とも考えられない



地形上の特異点
に立地することによる
差違性の創出



序列化と中心概念

1. 中心を明示する方法

1) 中心が1つの場合 ---> 単峰型のポテンシャル場
城や教会を中心に成立した集落

2) 中心が複数の場合 ---> 多峰型のポテンシャル場
いくつかのクラスタから全体が成り立つ場合

中心と周縁
という対概念が発生

2. 意図的に中心を消去する方法

1) 内部をある水準のポテンシャルで満たすやり方
イスラム圏のメディナ

同質な住居が加算的に広がり中核となる施設に乏しい

圏域が明示的

2) 限りなくゼロに近い水準に設定するやり方

アンデスのインディオ集落

広大な土地に住居がどこまでも点在

圏域が暗示的

中心が1つの場合の代表例

a) 西欧の中世都市

カテドラルと前面広場：街の中心
その周囲に公益施設や有力者の家屋が立地



Petres(スペイン)

b) 中南米のコロニアル・スタイルの都市

支配の構造が明示的

- ・街の中央に位置する広大な矩形広場とスケールアウトした教会
- ・地形を無視して強引に引かれたグリッドプランの道路

c) 東欧の中世都市

東ドイツ植民運動に伴う市場町を起源

- ・町の中央広場—商店，ギルドホールと市庁舎
- ・教会は中心を外した位置に立地



Poznan(ポーランド)

Petres(スペイン)



レバント通り

フライ・ドミンゴ通り
ラ・ルダナ通り

アルバート通り

スエラ通り

カルバリ通り

フネラ通り

Carrer Senda dels Forasters
ラ・バサ通り

ラ・コサ通り

Carrer Dr. Domínguez Roca

カンセブシオ通り

トラペシア・サン・ジュアン

Av. Baró de Petres

カミ・ラ・ピラ

Polígono 2

Sèquia de

Google

Calahorra(スペイン)



San Gimignano(イタリア)

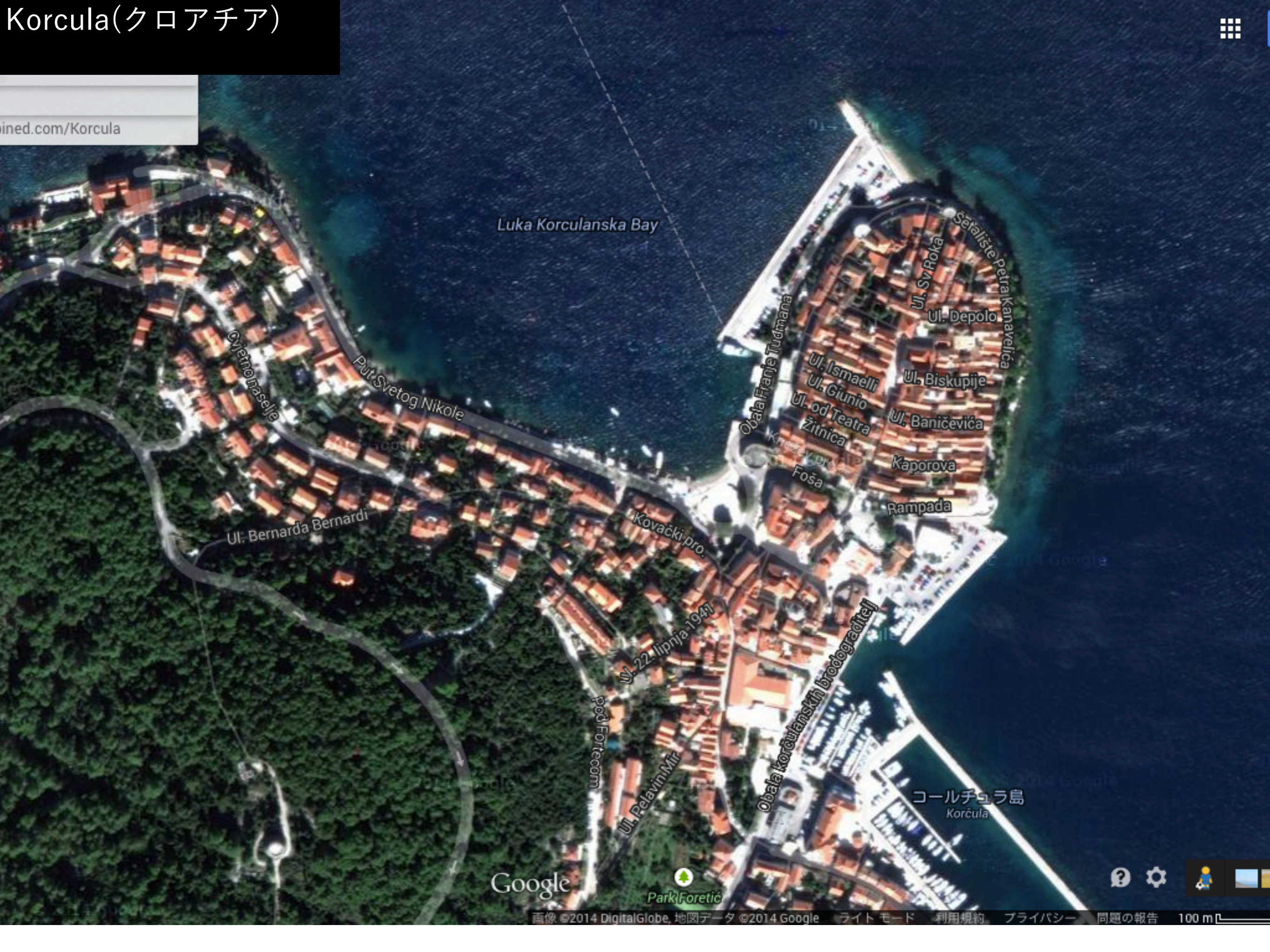


ログイン



Korcula(クロアチア)

ined.com/Korcula



Luka Korculanska Bay

Ovjetno naselje

Put Svetog Nikole

Ul. Bernarda Bernardi

Kovački pro.

Ul. 22. lipnja 1941

pod Fortecom

Ul. Pelavin Mir

Ovata Franje Tuđmana

Ul. Ismaelli
Ul. Giunio
Ul. od Teatra

Žitnica
Križev pro.
Foša

Ul. Sv. Roka

Ul. Depolo

Ul. Biskupije

Ul. Baničevića

Kaporova

Rampada

Šetalište Petra Kanavelića

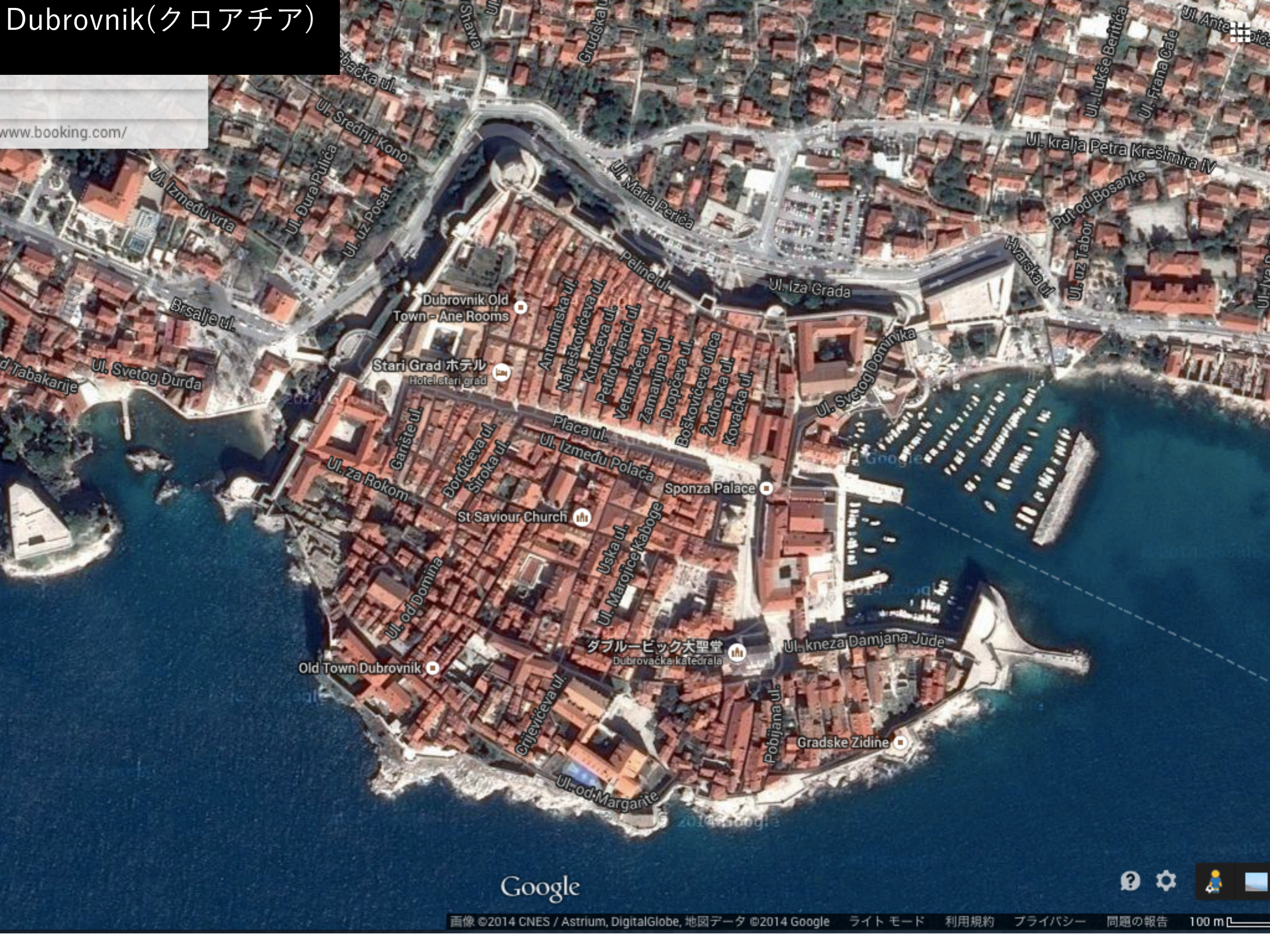
コールチュラ島
Korčula

Google

Park Foretić

Dubrovnik(クロアチア)

www.booking.com/



Google

画像 ©2014 CNES / Astrium, DigitalGlobe, 地図データ ©2014 Google

ライト モード

利用規約

プライバシー

問題の報告

100 m

Poznan(ポーランド)



ログイン

ポズナン
POZNAŃ

Google

Wroclaw(ポーランド)



Jelenia Góra (ポーランド)



Jelenia Gora (ポーランド)

ショッピング
カパックツ
Shopping Karpacz



ポドパレ

ミヤルスカ

フォルテチュナ

アヌ
ヤヌ

コペルニカ

イエレニヤ

Market Square

フォルテチュナ

ポドパレ

グロツカ

グロツカ

ボチュナ

ホスナンスカ

ドルチャナ

コフニスキエイ

トワカ

シュコルナ

アム・ハンコバ

コフニスキエイ

ボレスワバ・フロブレゴ

クルトカ

アムステルダム

アルメイ・クラエパテ

Google

意図的に中心を消去する方法

2) 限りなくゼロに近い水準に設定するやり方の例

アンデスのインディオの離散型集落

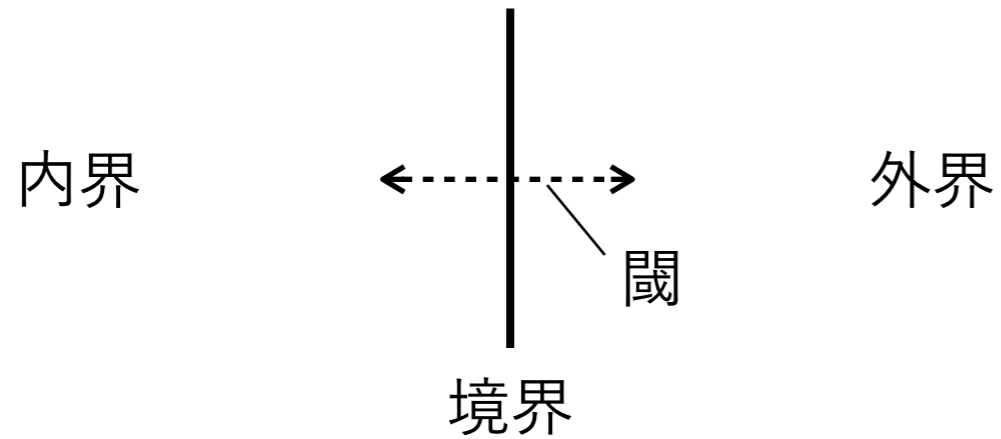
- ・ 監視と伝達のネットワークが存在
- ・ 攻撃目標を分散させることにより被害を最小限に食い止める仕組み



マイノリティ集団の集落に多く見られる

- ・ 全滅を防ぐ
- ・ 等質性により、境界条件が緩やかで規模の拡大が容易

圏域化と領域概念



閾 領域の閉鎖の度合いを調整

開と閉しかないもの / 連続的に変化できるもの

境界の一部が特化したもの / エリアとして設定されるもの
扉, 窓 / ベランダ, 前室, ホワイエ

境界 可視的なもの 物理的なアクセスを制御する装置 閾 = 門
城壁, 防塁, 塀, 柵, 堀割

不可視のもの 明示されていないが当事者には察知できる一線
インドのトーラ

同一カーストの人々が集まって形成するエリア
—住居の規模, 素材, 構法, 装飾等に
階級差が歴然と可視化

配列の論理

1. モノの位置関係あるいは序列の状況を示す概念

上下, 前後, 左右, 高低, カミ/シモ, 表/奥, 方位, 順序, 層序など
→内部の領域区分を示す

2. フィジカルなパターンを示すもの

線形, クラスタ, 口字, T字など
→領域区分された内部でモノを律する際の拠り所

部族ごとに独自の空間概念

記号化と表象作用

モノを集落内のどの位置にどのように配するか→モノが付帯する意味

モノが記号として機能

-----住民の共有の意識が必要

モノが特別な存在であることを集落の内外に明示する必要

スケールアウト, 異形, 特異な用途, 様式化した配列

／
極端に大きいものや小さいもの

→技術的な卓越性を誇示

集落の独創性→アイデンティティの醸成

記号化されたモノ \rightleftarrows 共同幻想

サダン・トラジャの集落
(インドネシア)



求心的な集落の事例 1

イエメンの城塞都市アル・ハジャラ

紅海沿岸部と山岳地帯を結ぶ交易路の中間地点付近に位置

街の起源は12世紀 標高2,300mの山頂に位置

山頂の僅かな平坦地を囲繞するように住居が配置

塔状住居の下層部には窓がなく隣棟との隙間には石垣
：街全体が石の要塞

内部は不規則に折れ曲がった細い路地が巡る

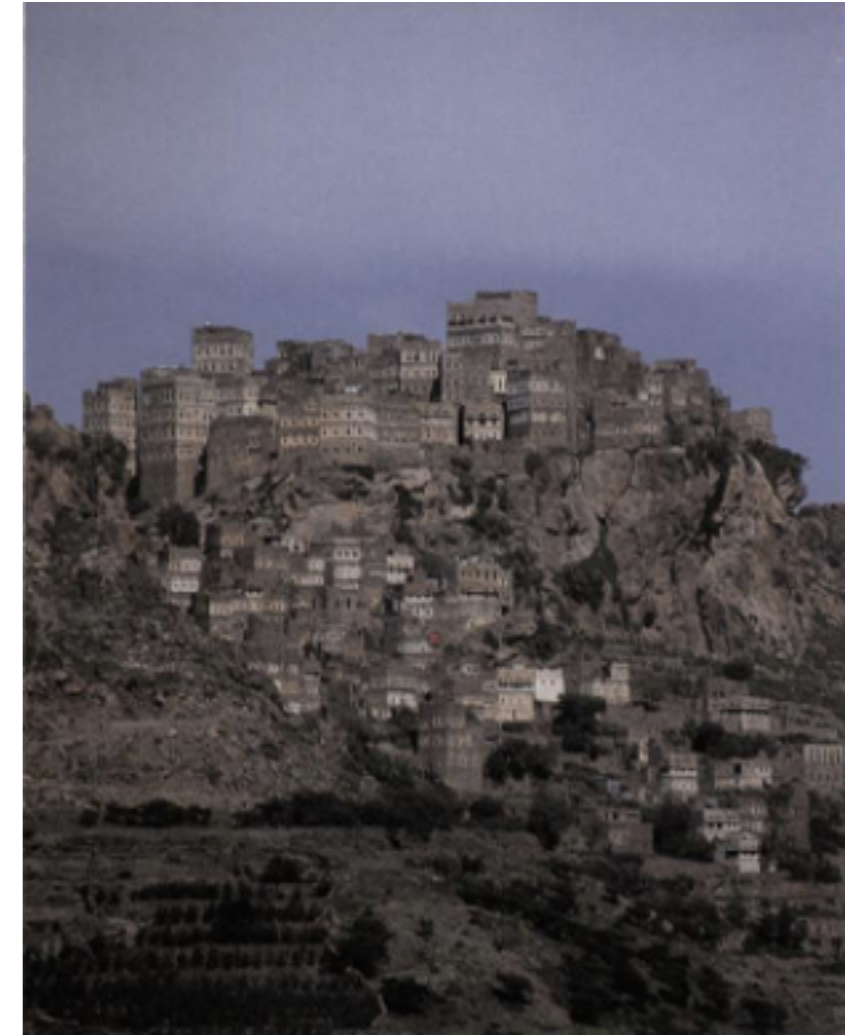
中央に小さな広場

山嶺という地形的な特異点の上に
更に人工的な石の要塞を築き特異性を倍加

ハラズ山地

山々の頂に望楼のような集落が点在

各々が割拠し互いに相手を見張る排他的な構成



求心的な集落の事例 2

イエメン サヌアの高層住居

砂漠と紅海を結ぶ交易ルートと紅海沿いの山岳ルートの要衝

シバ王国の時代から栄える 標高2,200mに位置

南北約1km, 東西約1.5km

厚さが4mに及ぶ土塁で囲まれ, 5つの城門が設置

45のハラー (街区), 42のモスク, 64のミナレット,

20のサムサラート (隊商宿), 17のハンマーム (公衆浴場)

市街地の中にブスタン (菜園) が取り込まれている: モスクに寄進された農地
水の確保が難しいため

住居は5~8階建て

下層2~3階: 石造/上層部: 焼成煉瓦か日干し煉瓦

市街地を城壁で囲み強固な境界を形成

街の中心: セントラルスーク (市場) と
サムサラート

城門からスークに至る道: 直線路

住宅地を縫う小路: 不規則に折れ曲がる



ブスタン



セントラルスーク



求心的な集落の事例 3

イエメン シバーヌの高層住居

旧南イエメン:

アラビア海に沿った丘陵地帯に
多くのワディ（涸谷）が形成

ワディ・ハドラマート

全長200kmの巨大な峡谷

インドとヨーロッパを結ぶ隊商路のひとつとして栄える

シバーヌ：谷の要衝にある城塞都市

歴史は創世記まで遡る

13世紀、16世紀の大洪水を経て

格子状の街路をもつコンパクトな姿に進化

7haに約500戸，7000人が住む超高密度居住地

四周を城壁に囲まれ、
城門は1つ

城門を入ると市場と宮殿

城内には7つのモスク、
2つの宮殿、学校、病院



ワディに面する土塁上に立地



城壁と建物の関係



求心的な集落の事例 4

ムザップの谷の7つの街

イスラムの旧市街メディナ

迷路状の不規則な道と、壁を共有しながら連続する口字型の住居が特徴

口字型住居の中庭：風と光を程よく取り込む

都市計画的にも機能—

不整形な敷地割りや微妙な地形の変化に対応する

住居の形の歪みを吸収

→どの方向にでも加算的に住居の増殖が可能

ムザップの谷の街

谷底の可耕地を避け、周辺の丘陵地に立地

歴史は11世紀に遡る

イラクを追われたイスラムの宗派とベルベル人の混交→モザハイト：谷の住人

街は城壁で囲まれる

城門から続く道はまっすぐ市場に到達

コロネードが四周を巡る矩形の広場

モスクを中心に丘を覆う集落 — 全ての住居からミナレットが見えるための秩序

建物の高さ7.5m以下 全ての道は昇り詰めるとモスクに至る

全ての住居は階層性を示してはならない、などの空間的な戒律







W147

M'Zab

M'Zab

ساحة الونام

Avenue du 1er Novembre

El Haramayne

Rostomia square
ساحة الرستمية

Lekhla

Boujdira

Beldouate

Talem

Puit de Bidraou

Lekhla

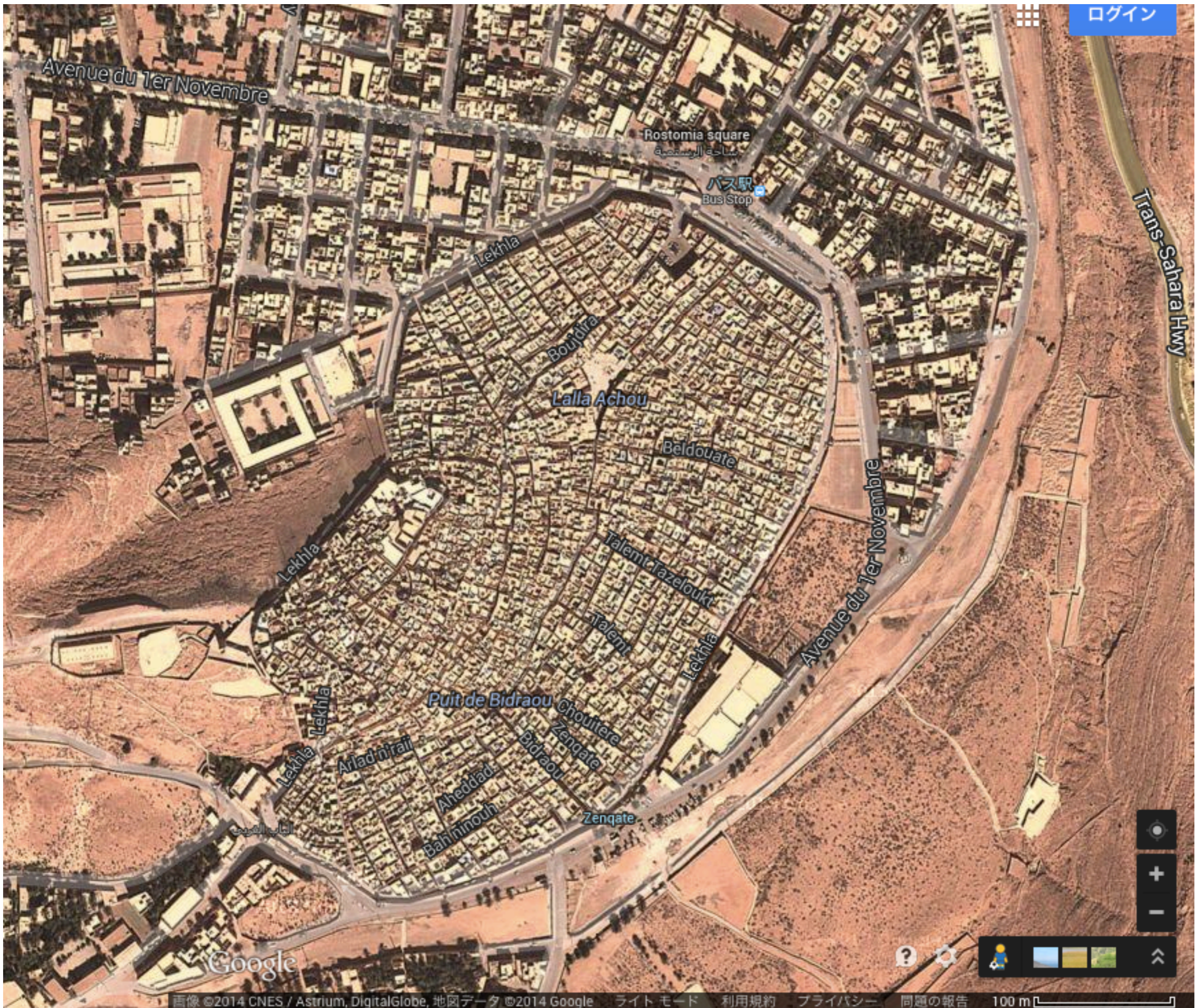
Bah ninoun

Avenue du 1er Novembre

N1

Oudjouden

Google



Rabat (モロッコ)



Kasbah of the Udayas
القصر الملكي

R322

アンダルシアン
ガーデンズ
Andalusian Gardens

Dar El Kebira
Hotel Rabat

R322

R322

R322

Avenue Misr

Avenue Laalou

Oued Bou Regreg

Chouhada

Rue Kalkuta

Rue Bouqroune

Rue Joutia

Rue El Fassir

Rue Du Mellah

ヘルラン通り
Ankara

ケアルン通り
elkrim Al Khattabi

ロンドン通り
Rue London

パリ通り
Rue Paris

アヴェニュー
Avenue Al Mouqouama

アヴェニュー
Avenue Jazirat Al Arabe

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

カサブランカ通り
Rue Mohammed VI

アヴェニュー
Avenue Abdelmoumen

Place du marché

Bab el Had Square
ساحة باب الأحد

N1

Jardin Nouzhat Hassan
حديقة نزهة حسان

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Al Mansour Addahbi

アヴェニュー
Avenue Chellah

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Abdelmoumen

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue du Maghreb Arabe

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

N1

Google

アヴェニュー
Avenue Soekarno

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

アヴェニュー
Avenue Mohammed V

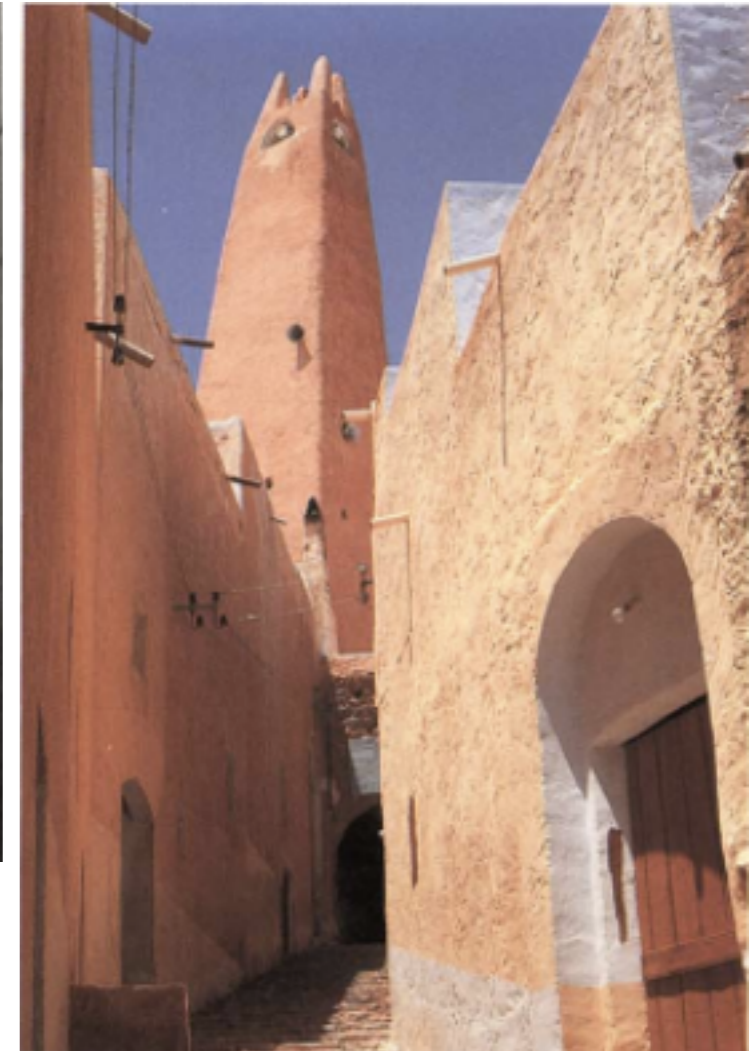
アヴェニュー
Avenue Mohammed V



谷の全景



ガルダイアの街路



ミナレット（ガルダイア）



市場（ガルダイア）



ベニ・イスーゲン
メリカ

エル・アトフ
ブウ・ノウラ

クサールの領域を丘に同調させ、
頂にモスクの塔
→街の象徴性を昂揚
：地形と同調することにより
塔が実際より遥かに高く聳えて見える

離散型の集落の事例

イラクのアブ・ソウバット

アラブ河の河口付近の沼沢地に立地

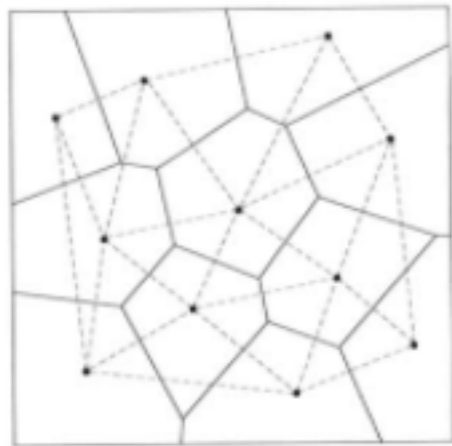
葦を敷き詰めた人工の島に居住

ひとつの家族がひとつの島をもつ

島間の交通手段はカヌー

島と島間の空きの空間に監視のネットワークが張られる

視覚的・聴覚的に交信可能な距離を保ちながら均等な間隔で住居を配置



ポロノイ図形：1つの住居の守備範囲

デロネイ網：監視のネットワーク



幾何学から発生する場の状況 1
棟が対面する形式
—トバ・バタック族の集落

集落の周囲は土塁や堀割で囲む
方位軸に沿った矩形の広場を挟んで
住棟と穀倉が対峙
広場：日常的には屋外の作業場,
ハレやケの日には儀式的舞台

対面する異なる要素
—2つの領域に空間が分割



間に両者の閼となる媒介空間が発生
—2つの領域の連結機能, 表舞台となる場の設営



表と裏という対概念の発生

空間の表裏の明示 —場面性の高揚



幾何学から発生する場の状況 2

線形の配置

—インドネシア 南ニアスの高床住居

幅員の広い広場的な通りを中心に山の稜線に沿って配置

通りに沿って1列の住居が隙間なく並ぶ

通りに沿った前庭は穀物や洗濯物を干す場、住居の裏手は緩斜面の菜園

通りの中央部に集会所が立地



集会所の立地する中央広場



通りに沿って立ち並ぶ住居

幾何学から発生する場の状況 3

クラスタ型の配置

—アンダルシアの地下住居

クエバス（穴居住宅）

⇔カーサ（一般の住宅）

ジプシー出身の民族が居住

：差別されてきた存在

細かな凹凸をもつ丘の凹地に造られる

数戸が窪んだ部分を小広場として共有

周囲の崖地に房状に横穴が掘り込まれる

小広場には井戸があり、

物干し場、子供の遊び場、住民の語らいの場として活用

：コミュニティの日常的な中心

房状の配列が実現している集落事例は稀

弱小組織であるためにクラスタ化している





Guadix Cathedral

ベヌス・デ・バケレンカ通り

サン・ミケル通り

リオ通り
アルバロ・デ・バサン通り

フランシスコ通り

マルパジャ通り

ノバル通り

アマリア通り

アンチヤ通り

イマハン通り

トレモリーノス通り

ラ・グロリア通り

セントロム

セレン通り

オビスポ・リンゴン通り

サン・マルコス通り

カプリタ・デ・カス通り

Google



幾何学から発生する場の状況 4
場のポテンシャルの同質化
—環形土楼（客家の住居）

周辺の先住民族や外敵に対して団結して防御する必要
土着の城塞建築と漢民族の囲み型の住居の融合→環形土楼という特異な形式
大きな土楼では600人ほどが居住—血のつながった一族

1つの家族は縦方向に区割りされた4層の区画を保有
—上階と下階，楼中での場所などによる
有利・不利が生じるのを極力避ける

同族の内部の階級性を避けるため，
楼の内部を意図的に同質化

：大集団がひとつの建物で
共同生活する際の知恵

